



## ◆2学期も大きく成長した稲田っ子

用務で学校から外出した際、集団下校中の児童に出会いました。「校長先生、さようなら。」と、児童たちが笑顔で明るく挨拶してくれました。その様子から、今日も児童一人一人が充実した学校生活を送ることができたのだと感じました。2学期を振り返ると、各学年でさまざまな学びの活動に取り組んできました。1年生は小動物のお世話や金谷山公園への校外学習、2年生はお店屋さん体験やおもちゃ作り、3年生は地域探検や消防署見学、4年生はエコライフ出前講座やマイ・タイムライン出前講座、5年生はお米の調理や県政策出前講座、6年生は修学旅行や稲田むすぶフェスなどです。そこには、児童が主体的に学ぶ姿が数多く見られました。保護者や地域の皆様には、これらの活動を温かく見守り、ご支援いただき、心より感謝申し上げます。



マイ・タイムライン講座で、県・市の講師と防災行動計画について話し合う4年生

## ◆あなたがルールを守れば、ルールがあなたを守ります

今月は、生活指導主任が作成したスライドを活用し、各学級で「冬の生活のきまり」の確認を行いました。児童は、担任が映し出す画面を見ながら、どのようなきまりがあるのか思い出したり、理解を深めたりしていました。一方で、最近当校では、廊下での児童同士の衝突によるけがや、その一歩手前となる「ヒヤリ」とする出来事が頻発しています。私は、大人や教師から一方的にルールを押し付けるのではなく、なぜそのようなルールがあるのか、何のために守る必要があるのかについて、児童自身が納得して行動できるよう伝えていくことが大切だと感じました。今後も繰り返し指導を重ねてまいります。



冬の生活のきまりを確認する5年生

## ◆稲田っ子を見守る「赤いろうそくと人魚」の像

当校の児童玄関脇には、横尾昭司氏が制作した「赤いろうそくと人魚」の像が建っています。台座には「県小研国語科研究会 昭和47年」と刻まれています。これは、当時、当校が県の指定を受け、500人余りが参加して行われた研究会の記念として建てられたものです。校内の図書室には、この物語の作者である上越市出身の小川未明の『童話セレクション』が紹介されています。その巻頭には、「二人の子どもを病気で亡くした未明は、弱く善良なものに寄り添い、弱い者同士が助け合って生きる社会を描いた。」と記されています。「ひとの役に立てる子」を教育目標とする当校では、児童が自ら考え、誰かの役に立とうと行動する姿が数多く見られます。この像は、そうした児童の姿を50年以上にわたり、優しく、静かに見守ってきました。



赤いろうそくと人魚の像

## ◆1月の主な予定

- ・1日(木) ～4日(日) 閉庁日、～7日(水) 冬季休業
- ・8日(木) 3学期始業式 給食あり・全校下校 13:00
- ・9日(金) 6限欠課 全校下校 14:40
- ・13日(火) 発育測定(1・2年生)
- ・14日(水) 発育測定(3・4年生)
- ・15日(木) 発育測定(5・6年生)、学校預り金振替日
- ・21日(水) 稲田っ子フェスティバル
- ・27日(火) 委員会4年生見学(4・5・6年生下校 15:30)



iPadを活用して、「2学期に人の役に立てたエピソード」を綴った6年生の作文